（案）

基本方針２　豊かな心、温かな人間関係を育む教育の推進

（３）　良好な教育環境の推進

子どもたちが良好な学習空間で学び、教員や友達との関わりを大切にしながら安全に安心して学校(園)生活が送れるよう、学校施設等の教育環境を充実していかなければなりません。特に、学校施設の整備にあたっては、単なる保全等を目的とした「施設整備」に留まらず、ＩＣＴ機器などの基盤整備、認定子ども園への取組など、新しい施策や制度に対応し、または利用してより良い教育環境を構築していくことが重要だと考えています。

○　現状と課題

本区は、定住人口の増加に伴い、園児・児童・生徒数が増加しており、推計では今後も増加していくことが予想されています（図１）。このような状況の中、区内の開発動向をはじめ、地域の状況を踏まえながら、適切な時期に学校施設を整備していく必要があります。しかしながら、学校施設の整備を進める上で基礎となる「園児・児童・生徒数の将来人口推計」は、その精度に限界があることから、常にまちの動向に注視し、推計を修正しながら計画的に整備を行うことが大切です。

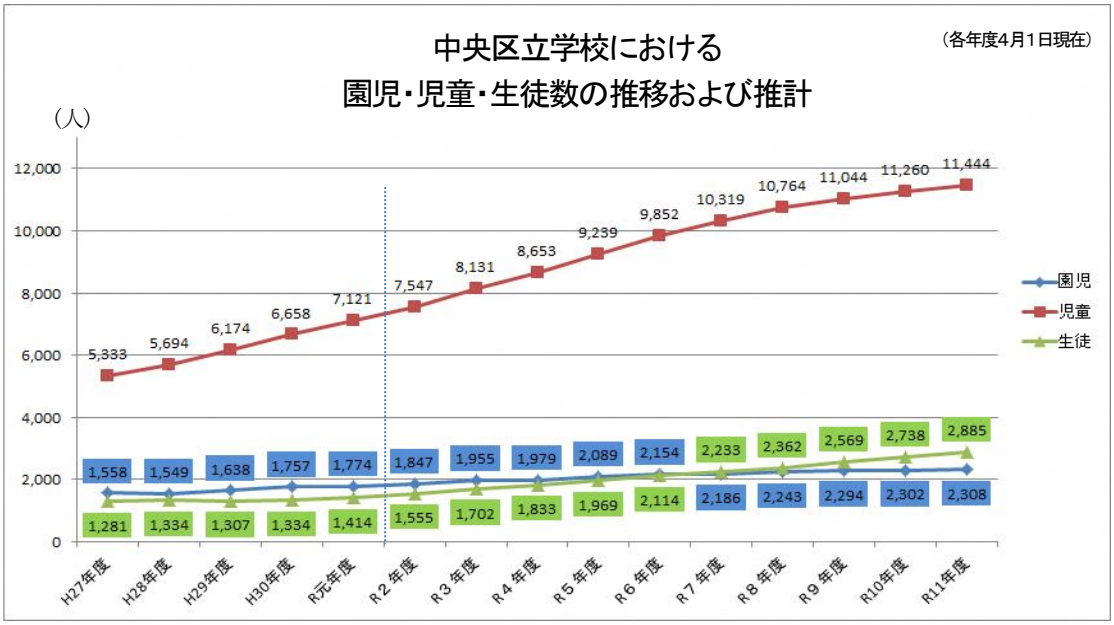
施設整備に際しては、敷地の確保が困難な中でも校庭面積を確保できるように屋上などの空間を有効活用するなど様々な工夫をするとともに、教員・児童生徒がいつでもＩＣＴ機器を使えるよう情報通信ネットワークの整備を進める必要があります。また、学校は、年代を問わず様々な人が利用する地域の防災拠点でもあることから、校（園）舎のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化などを図り、安全性や防災機能の充実はもちろんのこと、良好な教育環境の推進のために、あらゆる面から学校施設を整備していくことが重要です。

また、都心区である本区は、自然に触れる機会が少ないことから、授業で学んだ身近な自然や生物についての理解を深めるとともに感動する心や自然や生命を敬う心を育むことができるよう、柏学園をはじめとした校外学習施設において自然体験等の校外学習を積極的に実施しているところです。しかし、今後も児童・生徒数が増加することが見込まれているため、柏学園の改修等について適宜検討の上、整備していくことが必要です。

本区では子育て世帯を中心とした人口の増加に伴う保育園や一時預かり保育の需要が高まっています。国が平成27（2015）年度に開始した子ども・子育て支援制度により、区と法人が協定を結び運営等の基本的事項を定めることで、区が運営に関与することができる公私連携制度が導入され、幼稚園においても新たな形式の幼保連携型認定こども園が設置できるようになりました。

それを踏まえて、本区においても幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園を整備し、多様なニーズに対応していくことが求められています。

（図１）



（参考）

学校施設の増改築、整備スケジュール

学校名	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
阪本小学校	改築設計	解体・改築工事(H29年度～R2年度夏)		開設			
阪本こども園（仮称）	改築設計	解体・改築工事(H29年度～R2年度夏)		開設準備	開設		
城東小学校	解体・改築工事（H29年度～R4年度夏）					開設	
晴海五丁目 新設小中学校	基本設計 （H29年度4月～H30年度9月）		実施設計 （H30年度10月～平成31年度）	起工・準備工事等	整備		開設
晴海四丁目 新設認定こども園		基本設計	実施設計	起工・準備工事等	整備		開設

○　取組の方向性

①　学校施設の整備等

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後の選手村跡地の開発をはじめとする地域の状況を踏まえながら、学校施設の改築・改修、整備を適切に進めていきます。また、学校施設の改築・改修等に際しては、バリアフリー化や防災拠点機能の充実を図るなど、地域コミュニティの核にふさわしい施設を目指すとともに、自然エネルギーや省エネルギー設備の導入、屋上・壁面の緑化などを促進し、環境負荷の低減はもとより、環境教育の推進にも適う施設づくりを進めていきます。

なお、学校施設の保全については、中・長期的な長寿命化計画を策定し、学校施設の計画的かつ効率的な維持管理を推進します。

②　校外学習施設の機能強化

区立柏学園の施設を改修し、児童・生徒数の増加に対応するとともに、より、充実した体験学習に適う施設となるよう整備していきます。

③　ＩＣＴの環境整備等

国の示す整備指針等を踏まえつつ、ＩＣＴ環境の整備・研究を進めてきた京橋築地小学校、阪本小学校、銀座中学校での実績やＩＣＴ教育推進検討委員会での検討結果を踏まえ、教員・児童生徒が日常的に活用できるように校内のＩＣＴ環境の整備を進め、児童・生徒の情報活用能力を育成していきます。

④　認定こども園の整備

保育に関するニーズに対応するため、幼保連携型認定こども園を整備していきます。

【主な取組】

①-1　学校施設の整備等【新規】

阪本小学校は令和２（2020）年９月、城東小学校は令和４（2022）年９月の開設を目指し、それぞれ改築工事を進めていきます。また、令和５（2023）年の開設に向けて晴海五丁目に小学校と中学校を整備します。

①-2　中央区立学校施設の長寿命化計画の策定【新規】

学校施設の長寿命化計画を策定し、施設の生涯に渡る計画的かつ効率的な維持管理を推進します。

②　校外学習施設の機能強化【充実】

区立柏学園の施設の大規模改修を行い、宿泊室の増設や、給食室の拡張を行うことで児童・生徒数の増加に対応するとともに、空調施設やトイレの更新、バリアフリー化を行い、郊外学習施設の充実を図ります。

③　ＩＣＴ環境の整備【充実】

教員・児童生徒が日常的に活用できるような指導者用・学習者用のタブレット整備を全校に展開します。同時に大型提示装置を各普通教室と特別教室に常設するほか、安定的に稼動するネットワーク環境を確保し、児童・生徒や教員が情報機器の操作をスムーズに行えるよう整備を進めます。

④　認定こども園（幼保連携型）の整備【新規】

阪本小学校の改築に併せて、令和３（2021）年４月の開設を目指し、阪本こども園（仮称）を整備するとともに、令和５（2023）年の開設に向けて晴海四丁目に１園を整備します。